

# The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2011年8月号 通巻32号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2011

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

## ハクビシンはフルーツ好き？

### いまだ謎多き食性



ハクビシンのフンの  
内容物

[左]ビワの種子  
(2011年5月、世田  
谷区)。

[右]トキワサンザシ  
属の種子(2011年2  
月、杉並区)。

タヌキの研究ではフンの分析が重要ですが、これはハクビシンでも同じです。東京都23区のハクビシンは都会でいったい何を食べているのでしょうか？ タヌキと同じようなものを食べているのでしょうか？ これはまだほとんど調べられていない未開拓の分野です。

この研究で難しいのがフンの収集です。もし道端にフンがあったとしても、それはネコやイヌのフンとの区別は難しいです。しかし、ハクビシンのフンであることが確実な例があります。それは屋根や上階のベランダにあるフンです。そのような場所にまで登れる哺乳類は東京都23区内にはハクビシンぐらいしかいません(アライグマも可能ですが、23区内での確率はかなり低いものです)。ただ、ベランダなどのフンがハクビシンのものだと気づかれる方は少ないようで、情報はなかなかやっけて来ません。

#### フンの中身は種子ばかり

今年は幸運にもハクビシンのフンを2件入手することができました。1件目は2月に杉並区で入手しました。民家の屋上にあったものです。そのフンは赤色(正確にはレンガ色)をしていました。フンには多数の小さな種子が含まれていました。調べてみると、これはトキワサンザシ属(具体的にはトキワサンザシ(ピラカンサ)、タチバナモドキ、カザンデマリ)の種子と推測されました。これらは住宅の庭にもある低木で、秋から冬に小さな赤い実をつけます。フンが赤かったのは実の色のためだったのです。

2件目は5月、世田谷区のものでした。こちらは自動車の屋根の上にフンがありました。フンにはビワの種子ばかりが含まれていました(ということはネコの可能性はないということです)。5月はちょうどビワの実の季節です。

いずれのフンにも種子の他に未消化の果肉と果実の皮らしきものが含まれていました。ところが不思議な

ことに、他にははっきりとわかる物はまったくありませんでした。

#### 果実の他には？

ハクビシンが果実が好きなのはわかりましたが、果実は1年中あるわけではありません。春や真夏には果実はかなり少ないです。果実だけに頼って生きているわけではなく、他にも何かを食べているはずですが、それが今回のフンには果実以外の物は見つかりませんでした。タヌキなら昆虫の断片がたいてい見つかるのですが、それもありませんでした。ハクビシンは果実以外は何を食べているのか。謎はまだ全然解明されていません。

### スポンサー枠

スポンサー募集中です！

東京都および周辺地域のタヌキ  
情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>